

死亡症例の集計

死亡症例(全例)における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数	(%)
10歳未満	11	15
10代	5	7
20代	6	8
30代	10	14
40代	4	6
50代	9	13
60代	7	10
70代	6	8
80代	9	13
90代	4	6
総計	71	100

患者年齢別②

	症例数	(%)
6歳以下	10	14
7歳から9歳	1	1
10歳から12歳	1	1
13歳から15歳	3	4
16歳から18歳	1	1
19歳以上	55	77
総計	71	100

性別

	症例数	(%)
女性	25	35
男性	46	65
総計	71	100

インフルエンザウイルス型別

	症例数	(%)
A型インフルエンザ	31	44
B型インフルエンザ	12	17
型不明	28	39
総計	71	100

副作用発現時期別①

	症例数	(%)
2001	4	6
2002	6	8
2003	2	3
2004	7	10
2005	20	28
2006	14	20
2007	17	24
不明	1	1
総計	71	100

副作用発現時期別②

	症例数	(%)
2000-2001シーズン	3	4
2001-2002シーズン	4	6
2002-2003シーズン	4	6
2003-2004シーズン	8	11
2004-2005シーズン	19	27
2005-2006シーズン	15	21
2006-2007シーズン	17	24
不明	1	1
総計	71	100

シーズン；8月から7月

死亡症例の集計

突然死(39例)における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数	(%)
10歳未満	8	21
10代	0	0
20代	6	15
30代	9	23
40代	1	3
50代	6	15
60代	4	10
70代	1	3
80代	3	8
90代	1	3
総計	39	100

患者年齢別②

	症例数	(%)
6歳以下	8	21
7歳から9歳	0	0
10歳から12歳	0	0
13歳から15歳	0	0
16歳から18歳	0	0
19歳以上	31	79
総計	39	100

性別

	症例数	(%)
女性	15	38
男性	24	62
総計	39	100

インフルエンザウイルス型別

	症例数	(%)
A型インフルエンザ	17	44
B型インフルエンザ	8	21
不明	14	36
総計	39	100

副作用発現時期別①

	症例数	(%)
2001	2	5
2002	6	15
2003	0	0
2004	1	3
2005	12	31
2006	7	18
2007	11	28
総計	39	100

副作用発現時期別②

	症例数	(%)
2000-2001シーズン	1	3
2001-2002シーズン	4	10
2002-2003シーズン	3	8
2003-2004シーズン	1	3
2004-2005シーズン	11	28
2005-2006シーズン	8	21
2006-2007シーズン	11	28
総計	39	100

シーズン；8月から7月

死亡症例の集計

突然死以外の死亡例(32例)における患者背景、発現時期に関する集計

患者年齢別①

	症例数	(%)
10歳未満	3	9
10代	5	16
20代	0	0
30代	1	3
40代	3	9
50代	3	9
60代	3	9
70代	5	16
80代	6	19
90代	3	9
総計	32	100

患者年齢別②

	症例数	(%)
6歳以下	8	21
7歳から9歳	0	0
10歳から12歳	0	0
13歳から15歳	0	0
16歳から18歳	0	0
19歳以上	31	79
総計	39	100

性別

	症例数	(%)
女性	10	31
男性	22	69
総計	32	100

インフルエンザウイルス型別

	症例数	(%)
A型インフルエンザ	14	44
B型インフルエンザ	4	13
不明	14	44
総計	32	100

副作用発現時期別①

	症例数	(%)
2001	2	6
2002	0	0
2003	2	6
2004	6	19
2005	8	25
2006	7	22
2007	6	19
不明	1	3
総計	32	100

副作用発現時期別②

	症例数	(%)
2000-2001シーズン	2	6
2001-2002シーズン	0	0
2002-2003シーズン	1	3
2003-2004シーズン	7	22
2004-2005シーズン	8	25
2005-2006シーズン	7	22
2006-2007シーズン	6	19
不明	1	3
総計	32	100

シーズン；8月から7月

死亡症例の集計

死亡症例(原因不明) 主な併用薬剤の内訳

	薬効分類	集計
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤	14
	インドメタシン製剤	1
	その他の解熱鎮痛消炎剤	13
	ピラゾロン系製剤	2
	フェニル酢酸系製剤	1
	塩基性消炎鎮痛剤	1
小計		32
精神神経用剤	その他の精神神経用剤	13
	フェノチアジン系製剤	5
小計		18
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	セフェム系抗生物質製剤	10
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用	2
	ペニシリン系抗生物質製剤	5
	ホスホマイシン製剤	1
小計		18
消化性潰瘍用剤	H2遮断剤	5
	その他の消化性潰瘍用剤	10
小計		15
去たん剤	システイン系製剤	2
	その他の去たん剤	8
	ブロムヘキシシン製剤	2
小計		12
気管支拡張剤	キサントシン系製剤	1
	サルブタモール製剤	1
	その他の気管支拡張剤	7
小計		9
副腎ホルモン剤	エピネフリン製剤	1
	フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤	1
	プレドニゾン系製剤	5
小計		7
抗ヒスタミン剤	その他の抗ヒスタミン剤	6
	フェノチアジン系製剤	1
小計		7

死亡症例の集計

死亡症例(原因不明) 既往症・合併症

医師記載疾患名	既往症	合併症	総計
高血圧	1	2	3
急性気管支炎	2	1	3
膀胱直腸障害		2	2
気管支炎		2	2
アルコール性慢性膵炎	2		2
アルコール性慢性肝炎	2		2
骨粗鬆症		2	2
糖尿病		2	2
肺炎		2	2
不整脈	1	1	2
慢性心不全		2	2
総計	8	16	24

死亡症例の集計

突然死: 症状発症から24時間以内の原因不明死 (ICD-10: 瞬間死、原因不明の突然死)

年齢	突然死症例	使用患者数	10万人あたりの発現率
0-1歳	1	1,289,406	0.0776
2-3歳	4	2,748,900	0.1455
4-5歳	2	3,093,035	0.0647
6-7歳	1	2,723,249	0.0367
8-9歳		2,239,747	0.0000
10-11歳		1,702,850	0.0000
12-13歳		1,484,563	0.0000
14-15歳		1,521,234	0.0000
16-17歳		1,238,868	0.0000
18-19歳		1,181,415	0.0000
20-29歳	6	5,113,792	0.1173
30-39歳	9	4,402,635	0.2044
40-54歳	3	3,799,258	0.0790
55-64歳	7	1,376,198	0.5086
65歳以上	6	2,229,353	0.2691
年齢不明		250,684	
計	39	36,395,187	0.1072

死亡症例の集計

突然死39例の発現時の状況

院内か院外か	院内	院外	不明
	19	17	3
睡眠中か否か	No	Yes	不明
	12	8	19
意識障害時か否か	No	Yes	不明
	18	1	20
呼吸困難の有無	なし	あり	不明
	10	10	19
目撃者	No	Yes	不明
	17	17	5
瞬時の突然死	No	Yes	不明
	11	15	13

院内か院外か

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
院内	3		3	7		1	
院外	3		2	2	1	5	3
不明	2		1				

睡眠中か否か

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	2		1	3		1	
No	4		5	1	1	1	2
不明	2			5		4	1

意識障害時か否か

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes						1	
No	6		2	2	1		2
不明	2		4	7		5	1

呼吸困難の有無

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	4		1	1	1	2	1
No	3		1	1			1
不明	1		4	7		4	1

目撃者があったか

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	5		1	1	1	2	3
No	1		3	8		3	
不明	2		2			1	

瞬時の突然死

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代
Yes	2		1	2		3	1
No	5		2		1	1	2
不明	1		3	7		2	